

取ったボールを近くの味方につなげるんじゃなくて、「ボールがなるべくゴールから遠いところにあったほうがいい」というようなクリアが多かった。これだとすぐ相手に拾われて、またディフェンスすることになってしまう。強い相手も攻撃は強いけどディフェンスはそんなに強くないかもしれない。ビビらないでいつでも自分達のサッカーが出来るようになるう。

南山戦 勝てば中央大会。緊張いっぱい3位決定戦だった。開始早々に混戦から逆サイドにシュートされ失点。弱いシュートだったけど、リュウセイがセービングしにくいタイミングのシュートだった。でもボールをしっかり持っているのはスクデットだった。リュウタの個人技とナイスシュートで前半のうちに同点に追いつけたことはよかった。後半、ベンチやお父さん達からの強い応援に見事にこたえ、トモキが逆転ゴールを決めた。自分のところにビタリと来るときにしか頑張りを見せないトモキには「どんなボールでも自分のものにするんだ！」という強い気持ちとボールへの執念を持って欲しい。トモキのゴールで勝利を確信したわけではなく、相手がなんとしても勝つ！という気持ちを見せ始め、押し込まれていった。ちょっとしたクリアミスの中に折り返され見事なミドルシュートを決められた。延長戦へ……。ヴェルディ戦での戦いから、体力もかなり落ちてきてはすだけど、みんながんばった。その頑張りにも、予選を通して調子の上がらなかったトモキがまた応えた。右サイドの角度がないところからのシュート。ベンチから見ててもキーパーのポジショニングは少し前目に見えた。トモキがそれを見て打ったのかはわからないけど、見事に逆サイドのサイドネットにつきささった。延長前半の得点だったから、終了のホイッスルまでがすごく長かった。試合が終了してみんなでゆっくり勝利を味わいたかったけど、ジュニアユースの試合があったのでダッシュで会場を後にした。

[3位]・[中央大会]、すごいね。まさかだね。でも、結果を残したことよりも、この大会でみんながすごく成長したことがすごく嬉しい。

タダユキはポジショニングを覚えてきて、攻撃参加もタイミングをみていくようになった。

トシヤは普段はやさしい感じのプレイぶりだけど、この大会では何度もインターセプトしてたし、そのボールをダイレクトでしかり味方につないでいた。「まわりが良く見えてるなあ」ってほんとに感心したよ。ソウタのセンスにも驚いた。しなやかでていねいなプレイは輝いていた。トモセもねばり強く戦っていた。ポジショニングや一瞬の判断をこれから成長させたいね。ヒロトは前半で1試合分の頑張りを見せていて、チームで一番汗をかいて頑張ってたね。リュウタとユウトはやっぱりすばらしくて、タイミングやコースがすばらしいパスを何度も出していたし、得点でも貢献したね。カズキのディフェンスラインでの頑張りには感動だった。危ないところにカズキあり！だった。トモキもゲンゲンも結果は出してるけど、ていねいなプレイやボールに対する必死さをもっと見せて欲しい。

去年のチームは最初から完成度の高いチームだった。今年は成長のスピードが異常に速いチームのようだね。中央大会でまたさらに成長してくれるんじゃないかと思うと楽しみでしょうがないです。3位おめでとう！